

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	上村 実行
事務事業名	少年自然の家維持補修費(工事請負費)			担当者	管理G(田中 守)
所管部課名	教育部 少年自然の家 課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	青少年の健全育成
				施策 (項)	青少年の健全育成
予算科目等	会計	一般会計		教育費	
	項	教育費		少年自然の家費	
	事項	少年自然の家管理費	細事項	少年自然の家維持補修費	

事業の概要

野外活動施設の「冒険の森」は、23のアスレチックがあり当施設の目玉であり、子どもたちに人気がある。開所以来26年目を迎へ経年劣化等で老朽化が進んできている。このため年次的に全面改修を行っている。平成23年度は、「丸太はしご」の改修を行った。

2 事務事業の実施(Do)

対象 (誰を、何を対象とする事業か)	少年自然の家「冒険の森」23のアスレチック	事業開始年度		昭和62年				
		活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	①	安全性の確保			
				②	定期及び随時の安全点検・補修作業			
		手段 (市がどのような活動 をするか)	活動施設の維持補修・全面改修	最終目標値	①	安全性の確保		
②	定期及び随時の安全点検・補修作業							
意図 (どのような目的で 事業を行うか)	施設利用者の安全を確保する	成果指標 (活動をした上で、目標となる 成果をどのように設定する か?)	指標名	①	安全性の確保・活動中の事故ゼロ			
				②				
事業費	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	平成26年度 (見込み)	
	国・県支出金	千円						
その他								
一般財源	4,544		2,089	2,379	5,000	5,000		
合計(A)			4,544	2,089	2,379	5,000	5,000	
コスト・指標の推移	従事職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(B)	千円	800	800	800	800	800	
	従事嘱託員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費(C)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	トータルコスト		千円	9,344	6,889	7,179	9,800	9,800
	活動指標の推移	①	回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
		②	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年
	成果指標の推移	①	実施地区数	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
②		実施回数	1回	1回	1回	1回	1回	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

工事請負費 H22 冒険の森 人間ロープウェイ改修工事(2,113,000円)
 H22 冒険の森 すべり台改修工事(2,431,000円)
 H23 冒険の森 丸太はしご改修工事(2,089,500円)
 H24 冒険の森 千じんの谷改修工事他1件(予算 2,379,000円)

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 利用者の安全性の確保のために、必要性がある。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 市直営施設であるため。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 安全性の確保のため、維持補修経費は削減の余地はない。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 通常の安全点検、施設管理補助員として嘱託員を雇用している(1名)
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 常に安全を確保することが重要である。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 安全確保のために、毎月の安全点検でチェックし、危険箇所は速やかに対応する。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	①今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	②上記方向の理由 利用者の安全性の確保の面から、維持補修経費は必要不可欠である。
	③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 毎月の安全点検は、確実に実施し、危険箇所の早期発見、早期対策を講じる。 大規模改修や、専門的・技術的な箇所は、予算要求していく。
内部評価 (二次)	評価者名 教育部長 田畑逸郎
	①内部評価結果 妥当性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	②今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 中長期的な保全・整備計画の検討